

みずほ

第 56 号（発行：2025.12.9）

もりへ出かけよう！ No.49 冬の森歩き

冬といえば、雪上観察や園内を広く見渡すことができるのが醍醐味です。視線を変えると、冬の森がどんどんにぎやかに見えてきますよ。

視線を上に



枝同士がぶつからないよう隙間があるのがよくわかります。

ツルアジサイ果実



イワガラミ果実

つる性植物のツルアジサイや、イワガラミのドライフラワーのような果実が、森を飾り付けます。

オジロワシ



木の葉が落ちると、野鳥が観察しやすくなります。上空ではオジロワシが飛んでいることもあります。

～冬に観察できる野鳥～
シジュウカラ、ゴジュウカラ、エナガ、アカゲラ、クマゲラ、ツグミ、ウソなど

視線を下に

動物の足跡から活動していた姿を想像することができます。



キタキツネが掘った穴

ユキウサギの足跡

木の種子が落ちていたり、野鳥やエゾリスが種子を食べた跡があることも。周りに落とし主がいるかもしれません。



アサダの果実：中の種子は食べられ、残った袋が散らばっている

クモガタガガンボのように、雪上で活動する昆虫がいます。



クモガタガガンボ

葉痕三二図鑑

第二弾

園内では落ち葉がたくさん見られるようになりました。葉が落ちると枝先にある葉が付いていた跡「葉痕(ようこん)」が観察しやすくなります。葉痕には、葉と枝との間で水分や養分を交わしていた維管束痕が見られ、それが目や口などおもしろい模様に見える種類もあります。

葉が落ちた今の季節、葉痕ウォッチングをしてみませんか。

野幌森林公園では、植栽種を含めて約180種類※の樹木が確認されていますが、今回はそのうちの36種の葉痕を五十音順で紹介します。

(▲：植栽種、国内外来を含む外来種)

(※【道立自然公園野幌森林公園の植物 野幌森林公園植物調査の会】の調査による)



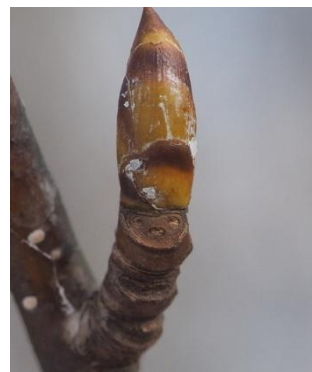
アカイタヤ



アキグミ



アクシバ



ウダイカンバ



エビガライチゴ



オオカメノキ



オオハボダイジュ



オニグルミ



カシワ▲



クロイチゴ



ケヤマウコギ



コシアブラ



コナラ



コバノヤマハシノキ▲



シウリザクラ



シラカンバ



チョウセンゴミシ



ツルウメモドキ



ツルシキミ



ツルマサキ



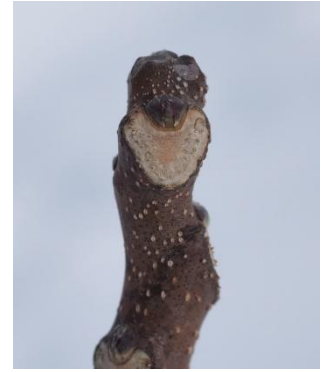
テウチグルミ▲



ナツグミ



ナワシロイチゴ



ニワウルシ▲



ヌルデ



ノブドウ



ハシドイ



ハナヒリノキ



ハンノキ



ブナ▲



ミズキ



ミヤマイボタ



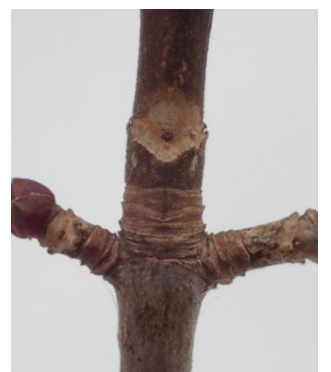
ミヤマガマズミ



ヤドリギ



ヤマブドウ



ヤマモミジ

野幌森林公園ニュース

カマキリ現る！

野幌森林公園にはもともといなかったオオカマキリの幼虫が、7/9に交流館の前で発見されました！

その日から、ちらほらと見つかり始め、8月以降、成虫が多数発見されました。



発見された幼虫：体長は3cmほど

成虫



卵嚢 ①交流館付近、②大沢コース

9/28には初めて交流館の近くで卵嚢が確認されました(①)。笹に付着しており、地上高25cmほどでした。

実は去年も数件目撃情報がありましたが、ここまで多く発見されたのは今年が初めてです。今後も注目していきます。



～文・写真・絵：普及啓発員 A～

わくわく！いきもの冬まつりを開催します

2025年12月13(土)～2026年1月18(日)の約1か月間、自然ふれあい交流館にて、「わくわく！いきもの冬まつり」を開催します。期間中はクイズラリーやジオラマ展示、スノーシュー体験など、冬の自然とふれあえるイベントを行います。

スノーシュー体験では、スノーシューを履き、動物の痕跡や野鳥を観察しながら森を散策することができます。

野幌森林公園で冬の森を楽しみましょう。



スノーシュー体験



クイズラリー



ジオラマ展示

～文・写真：普及啓発員 N～

野幌森林公園 自然ふれあい交流館

開館時間：10～4月 9:30～16:30、5～9月・・・9:00～17:00

入館料：無料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832

(発行・編集／指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団)

休館日：毎週月曜日(祝日・振休の場合開館)、年末年始(12/29～1/3)

駐車場：大沢口 約40台収容、無料

自然ふれあい交流館
公式ホームページ



自然ふれあい交流館
公式SNS

